

親子安心ネット新聞



第21号 令和8年3月

親と子のスマホ・SNS安心情報ネットワーク会議 令和7年度総会を開催しました

令和7年11月28日（金）、三島市役所にて「令和7年度 親と子のスマホ・SNS安心情報ネットワーク会議 総会」を開催しました。この会議は、市内で子どもたちを日々見守る活動をしている団体同士が連携し、情報共有を図ることにより、地域が一体となってスマートフォンやSNSなどのインターネットトラブルから子どもたちや保護者を守るとともに、正しい情報モラルをもった人材育成を図ることを目的とし、平成28年11月の発足以来、毎年開催しています。



▲会議の様子

会議では、参加団体が令和6年度の活動内容を報告したほか、昨年に引き続き、一般財団法人草の根サイバーセキュリティ推進協議会（Grafsec）の清水将人氏より「保護者の目線で考える情報モラルとリテラシー～デジタル社会で活躍するこどもを育むために～」をテーマにてご講演をいただきました。

親と子のスマホ・SNS安心情報ネットワーク会議

<https://mishima-life.jp/anshin-net/>



三島スマホ安心アドバイザー活動報告

当活動は、14年目に入り、現在は12人で活動しています。令和7年度は、市内小中学校10校で「スマホ・SNS勉強会」を児童生徒、保護者、教職員等1,565人に対して実施しました。本年度もすべて対面で講座を実施することができました。昨年度に引き続き、一般市民向けに「大人のためのスマホ・インターネット安全基礎講座」を行いました。また、新たな試みとして、東小学校の特別支援学級の児童及び保護者に対して講演を行うなど、今年度もより多くの方々に情報モラルの発信ができました。しかし、三島スマホ安心アドバイザーの皆様と市と協議した結果、来年度より活動終了が決まりました。14年もの間、三島市民の方々に情報セキュリティのリテラシーについて、発信できたことを大変光栄に思います。三島スマホ安心アドバイザーの皆様も長い間、ボランティア団体として活動を継続していただき、誠にありがとうございました。



▲「スマホ・SNS勉強会（東小学校特別支援学級）の様子

三島スマホ安心アドバイザーHP

<https://mishima-life.jp/smaphoadv/>



参加者の声（アンケートより）

身近なSNSの年齢制限が思っていたより高かったので驚きました。（特別支援学級生徒）

YouTubeが大好きで見ればかりいます。年齢制限があることは初めて知りました。夜8時までなど早速ルールを作っていきたいと思います。（特別支援学級保護者）

「情報セキュリティ 10 大脅威 2026」から最新の脅威を知ろう！

独立行政法人情報処理推進機構（IPA）が、2025 年に発生した社会的に影響が大きかったと考えられる情報セキュリティの「10 大脅威」を選考する「情報セキュリティ 10 大脅威 2026」より、組織の部門において、**上位にランクインした第 3 位までの脅威**について紹介します。

昨年 1 位→

第 1 位

ランサム攻撃による被害



PC やサーバー内のデータ窃取や暗号化、窃取した情報の暴露予告を行い、これらを取引材料とした様々な脅迫により金銭を要求する攻撃をランサム攻撃といいます。昨今は業務効率等のために企業が構築したデータ連携基盤が標的にされており、被害は取引先も含め広範になり、調査や復旧に多くの時間と費用を要します。業務やサービス提供の停止による損失が発生し、市場への影響も大きいです。

✓対策✓

- ・インシデント対応体制の整備をしておく。
- ・サイバー保険の検討。
- ・セキュリティ対策のための予算の確保をする。
- ・身代金要求に対する姿勢を決めておく。 等

昨年 2 位→

第 2 位

サプライチェーンや委託先を狙った攻撃

商品の企画から、開発、調達、製造、在庫管理、物流、販売までの一連のプロセス、およびそれらのプロセスに関わる組織および外部サービスも含めサプライチェーンと呼びます。攻撃者は、強固なセキュリティ対策をしている標的組織に対して直接的な攻撃はせず、標的組織に関わるサプライチェーンの中で脆弱な部分を狙って攻撃し、脆弱な部分を経由して、間接的および段階的に標的組織を攻撃します。

✓対策✓

- ・被害の予防及び被害に備えた対策をしておく。

(例)

業務委託自体の適切さについて、定期的に確認・検討
委託先等のセキュリティ対策状況の把握 等

**初選出
第 3 位**

AI の利用をめぐるサイバーリスク

生成 AI の進化、普及に伴い、様々な問題、懸念が浮上しています。例えば、AI に対する不十分な理解による、意図しない問題として他者の権利侵害、情報漏えい、AI が加工・生成した結果を十分に検証せず鵜呑みにすることにより生じる問題、AI の悪用によるサイバー攻撃の容易化、手口の巧妙化などがあげられる。

✓対策✓

- ・シャドーAI 回避のため、AI サービス利用を検討する。
- ・AI ガバナンス及びサービス利用規定の整備をする。

(例)

AI 事業者ガイドライン等の参照・準拠
個人アカウントにおける業務利用の制限 等

より詳しい内容に関しては、下記 IPA のサイトをご覧ください。

(出典) 独立行政法人情報処理推進機構 (IPA)

「情報セキュリティ 10 大脅威 2026」

(https://www.ipa.go.jp/security/10threats/omgdg50000008fi8-att/kaisetsu_2026_soshiki.pdf)

発行 親と子のスマホ・SNS 安心情報ネットワーク会議
発行日 令和 8 年 3 月
事務局 三島市デジタル戦略課 055-971-4322
メール jyouhou@city.mishima.shizuoka.jp

